

国・市・地元自治会の3者が結ぶ

「路上被災者支援の協定」

～中部地方整備局では初の試み～



平成29年度 谷・中山区 感謝状贈呈式



平成29年台風21号 車両滞留の様子

飛騨地域に大きな被害をもたらした^{PR①}平成30年7月豪雨から1年を機に、国・市・地元自治会による^{PR②}中部地整初の路上被災者協定を結びます。

谷・中山区には、平成29年台風21号で立ち往生していた車、およそ49台に炊き出しや飲料水の提供などを自主的に行っていただきました。この活動に対して、市は飲食物等の提供を、国は事故に備えた保険費用を負担することで、サポートを行い、**地元一体**となって災害に備えます。

(路上被災者：事前通行規制の実施等により、一時的に移動が困難になった道路利用者)

1. 日時 令和元年7月29日(月) 9:30～10:00

2. 場所 谷中山公民館(飛騨市神岡町中山296) ※別紙参照

3. 協定締結者 ○谷・中山区長 中島 雄一 氏
○飛騨市長 都竹 淳也
○国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所長 竹島 大祐

4. 添付資料 別紙位置図

5. 配布先 高山記者クラブ、飛騨市

6. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所

副所長(管理) 澤田 敦則(さわだ あつのり) TEL:0577-36-3823 (管理第一課直通)

管理第一課長 高野 元彦(たかの もとひこ) FAX:0577-36-3841 (管理第一課直通)



『谷中山公民館』 飛騨市神岡町中山
(濃飛バス 中山バス停付近)

